ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

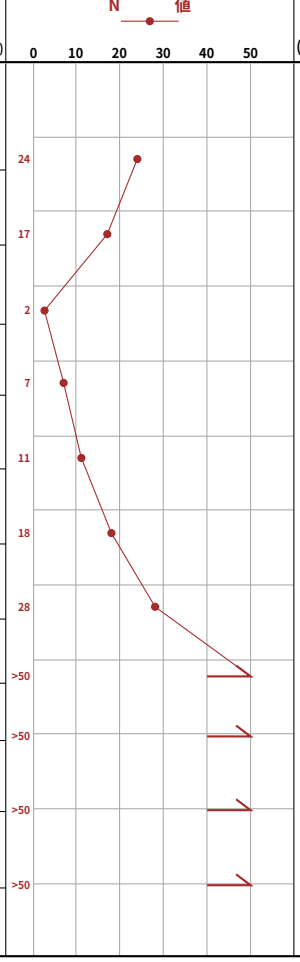
シートNO.

ボーリング名	NO.2-2(中央)	調査位置						北　緯	36 ° 32 ' 35.0000 "
発 注 機 関	栃木県鹿沼土木事務所			調査期間	2007-12-26 ～ 2008-03-21			東　経	139 ° 41 ' 29.0000 "
調 査 業 者 名		主任技師		現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者		ボーリング責任者	
孔 口 標 高	164.39 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0.00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	試 錐 機	ハンマー落下用具	
総 掘 進 長	11.06 m								エンジン	ポ ン プ	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
		1.00	1.00		礫混り粘土 (CH-G)	暗褐			粘着中位となり、礫径2から30mmの角礫所々混じる。上部植物根混じる。		
1	163.39	1.60	2.60		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐			礫径2から35mmの角礫主体。礫間粘土、少量の砂にて充填。含水比は下位。1.50m付近より含水比は中位。礫径最大90mm程の礫点在する。		02/08 1.54
2	161.79	1.60	2.60		粘土 (CH)	茶褐			粘着強い。礫径5から20mmの礫点在する。含水比は中位から高位。		
3	160.29	1.50	4.10		礫混り粘性土 (C-G)	茶褐			粘着中位。礫径2から20mmの角礫所々混じる所々褐色となる。		
4	159.49	0.80	4.90		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐			礫径2から35mmの角礫主体。礫間粘土、少量の砂にて充填。含水比は下位から中位となり、所々暗褐灰色に変化。5.60から5.75mの間、暗茶褐色に変化。		
5	156.89	2.60	7.50		風化頁岩 (Sh)	暗褐			粘土混じり砂礫状となる。		
6	156.59	0.30	7.80		頁岩 (Sh)	暗褐灰			礫状、岩片状となる。コア長5から10cmの柱状、短柱状コア主体。亀裂多数あり、所々岩片状コアとなる。8.65m付近より黒灰色に変化。9.25から9.35m、9.45から9.55mの間、岩片状コアとなる。9.55mからコア長10cm程の柱状コア主体。		
7											
8											
9											
10											
11	153.33	3.26	11.06								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	5	9	10	24／30	24
1.45					
2.15	8	5	4	17／30	17
2.45					
3.15	1／12	1／14	1	3／36	2
3.51					
4.15	2	2	3	7／30	7
4.45					
5.15	4	3	4	11／30	11
5.45					
6.15	7	6	5	18／30	18
6.45					
7.15	8	9	11	28／30	28
7.45					
8.15	26	24／6		50／16	>50
8.31					
9.00	50／8			50／8	>50
9.08					
10.00	50／3			50／3	>50
10.03					
11.00	50／6			50／6	>50
11.06					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						02/08
						02/09
						02/11